

いつも笑顔でいきいきと

～ 9月が高齢者保健福祉月間～



▲たじま荘と夢川保育園児との交流会でふれあい遊びを楽しむ入所者たち

高齢者福祉についての関心と理解を深め、高齢者自らの生活向上意欲を促すため、老人福祉法では、9月15日を「老人の日」、9月15日～21日までを「老人週間」と定めています。

兵庫県では、9月を「高齢者保健福祉月間」とし、県内でさまざまな行事を行っています。

市では、高齢者祝福訪問、長寿祝金の配布、老人福祉センター入浴無料サービスなどの事業をはじめ、さまざまな事業を行っています。

《問合せ》高年福祉課高年福祉係

たじま荘と 夢川保育園児との交流会

9月5日、特別養護老人ホームたじま荘(日高町十戸)で、夢川保育園児との交流会が開催されました。

たじま荘では、日高地域の保育園と定期的に交流を行っており、入所者の人気のイベントとなっています。

当日は、夢川保育園のたんぼ組・すみれ組(4歳児)、さくら組(5歳児)の41人が施設を訪れ、入所者らがホールに集まり、園児による歌やおどり、ふれあい遊びを楽しみました。

初めて施設を訪れた貴田(きだ)楽人(らくど)くん(4歳)は、「一生懸命練習してきました。おじいちゃん、おばあちゃんが喜んでくれてうれしかった。また来ます」と握手をしながら話すと、入所者の長谷川梅子(はせがわ けし)さんは「いつも楽しみにしています。今日は元気をもらいました。楽しかったです」と、笑顔で話していました。

同施設では、この他に敬老会や地域交流レクリエーション大会などが行われます。

但馬高齢者生き生き交流会 グラウンドゴルフふれあい交流会を 開催しました

9月4日、「グラウンドゴルフふれあい交流会」が、同実行委員会主催により県立但馬ドームで盛大に開催されました。

この大会は、但馬のグラウンドゴルフ愛好家が一堂に集い、ふれあいと交流を深めるとともに、生きがいと健康づくりに積極的に取り組む姿勢を養うため、毎年開催されています。

当日は、但馬各地の高齢者大学や公民館の教室などから64チーム(1チーム6人)、384人が参加し、多数のボラ



▲優勝目指して準備運動



▲初心者ばかりで、常に笑いが絶えなかったみてやま学園19年会Aチーム

ンティアスタッフの協力のもと、団体と個人の部で競技が行われました。

この大会に初めて参加した豊岡NGCの今井重孝さん(岩井)は、「大会に出るのが楽しみで、今日はホールインワンが出てうれしい」と、笑顔で話し、また、北前GG(B)の谷垣知子さん(竹野町須谷)は、「大勢の方と交流できてよかったです」と楽しそうに話していました。

会場は活気にあふれ、終始笑い声が絶えないなごやかなムードで競技が行われました。

長寿者祝福訪問

■満100歳以上: 43人
■百賀数え100歳: 20人
市からは、100歳以上の方に記念品、百賀の方に祝金10,000円、県からは満100歳の方に祝金50,000円が贈られました。

米寿者祝福訪問

■大正9年生まれの方(数え88歳): 498人
市から祝金5,000円が、社会福祉協議会からは額付き写真、県からは満88歳の方に祝金30,000円が贈られました。

老人福祉センター 入浴無料サービス (9月1日~30日)

■期間 9月1日~30日
■対象 市内在住の60歳以上
■場所
・長寿園 火・木・土曜日
男性 午前11時~午後0時
30分
女性 午後0時30分~3時
30分
・竹野老人福祉センター 水曜日 午後0時~5時まで

市内の最高齢者と最高齢夫婦を中貝市長が訪問し記念品などを贈りました

最高齢夫婦(計192歳)池内貞一さん・をきよさん



市内の最高齢夫婦は、塩津町在住の池内貞一さん(98歳)・をきよさん(94歳)です。夫婦共に豊岡生まれの豊岡育ち。夫婦暦71年の池内さんに長寿の秘訣を尋ねてみました。

貞一さんは、「規則正しい生活を続けています。好き嫌いはなく、1日30品目食べるようにしています」と話し、趣味で1日1首詠み1年で1冊、現在20冊になる和歌集「頭意想」を見せていただきました。また、をきよさんは、「よく食べてよく話し、趣味を楽しむことが長生きの秘訣です」と話されました。

最高齢者(106歳)北村よしさん



市内の最高齢者は、日高町育田在住の北村よしさん(明治34年生まれ)です。よしさんは豊岡生まれの豊岡育ち。106年間豊岡で暮らし、豊岡を愛するよしさんに長寿の秘訣を尋ねてみました。

「好き嫌いがありませんね。何でも食べます。これといってスポーツもしませんでした。決して無理はしませんでした。大きな病気もせず、今までずっと元気です」と元気に話されました。